

議決権行使レポート

証券コード 6479

会社名 ミネベアミツミ

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役12名選任の件			
貝沼 由久 氏	○		
森部 茂 氏	○		
吉田 勝彦 氏	○		
岩屋 良造 氏	○		
野根 茂 氏	○		
水間 聡 氏	○		
鈴木 克敏 氏	○		
宮崎 裕子 氏	○		
松村 敦子 氏	○		
芳賀 裕子 氏	○		
片瀬 裕文 氏	○		
松岡 卓 氏	○		
第3号議案 監査役3名選任の件			
塚越 眞弘 氏	○		
山本 博 氏	○		
星野 慎 氏	○		

上記の推奨をした理由

○第一号議案について

・期末配当を一株当たり 20 円とし、総額 8,169,986,580 円とすることに賛成する。これにより年間配当金は、中間配当金 1 株当たり 20 円と合わせて、前期実績 36 円から 4 円増額の 1 株当たり 40 円となる。

・下の図 1 は、ミネベアミツミの直近 10 年間の 1 株当たりの年間配当金と配当性向をグラフにしたものである。まず 1 株当たりの年間配当金に関しては、2016 年度から毎年前年度を下回ることなく伸び続けており、10 年間で 5 倍になった。次に配当性向については、2016 年度から 2020 年度にかけて毎年増加を続けていたが、直近 2 年間では 2020 年度から 15%以上低下し、約 20%となっている。しかし、直近 5 年間ではいずれも 15~100%に

収まっており、健全な状態だといえ、議案に賛成する根拠となる。

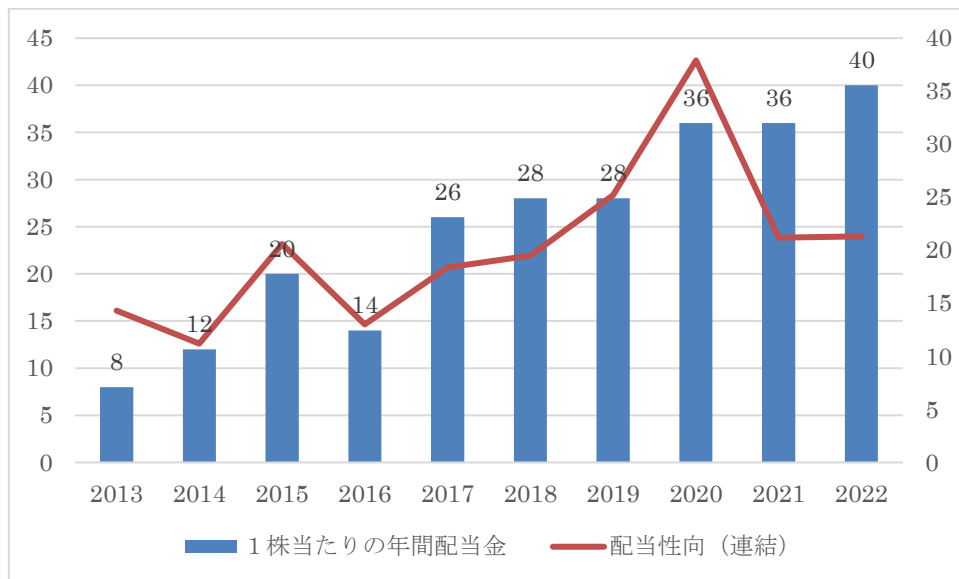


図1 ミネベアミツミの直近10年間の、1株当たりの年間配当金(円)(左軸)
配当性向(連結)(%) (右軸)

※下の年は〇〇年度(3月期)である。(以降の図でも同様である)

・次に下の図2は、ミネベアミツミの直近5年間の総還元性向をグラフにしたものである。これを見ると、2019年度以降、ミネベアミツミの総還元性向は下がり続けていることがわかる。しかし、依然として30%以上は維持しており、これを下回らない限りは企業が株主に対して利益を十分に還元しているとみなすことができ、議案に賛成する根拠となる。

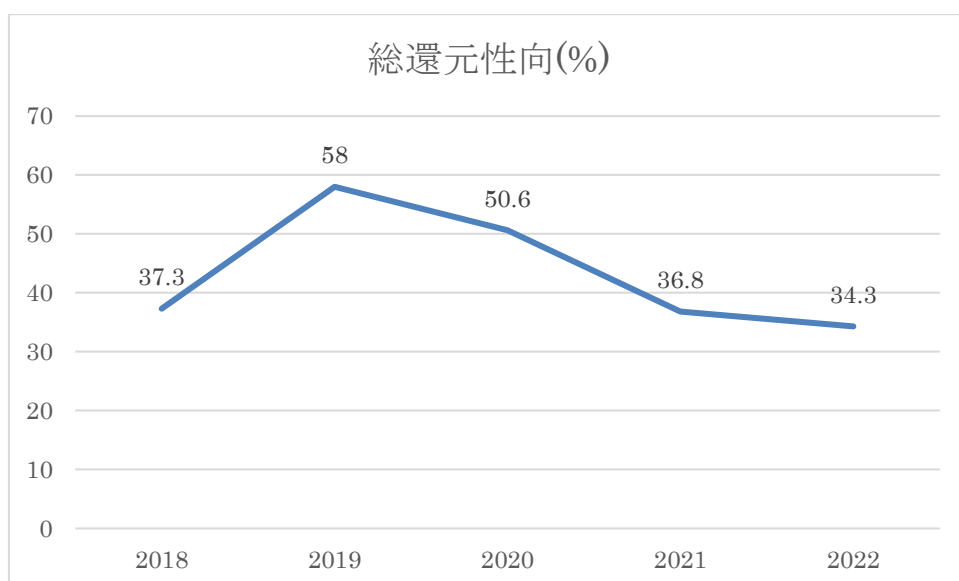


図2 ミネベアミツミの直近5年間の総還元性向 (%)

・以上より、ミネベアミツミは配当金や配当性向、総還元性向からわかるように、株主に
対して十分な還元を行っているといえ、この点を評価して、第一号議案に賛成する。

○第二号議案について

貝沼 由久 氏

・代表取締役として 2009 年から指揮を執り、2022 年度には売上高、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益のいずれにおいても過去最高益を記録するなど、グループの業容拡大、企業価値向上を実行、達成してきた実績を鑑みて賛成。

森部 茂 氏

・長らくミツミ電機の代表取締役社長を務め、経営者としての豊富な経験と高い見識を有している。また、ミネベアミツミの株式を多く所有しており、同社にとって欠かせない人物である。以上を鑑みて賛成。

吉田 勝彦 氏

・長くにわたり経営管理、経営企画、資材部門等の要職を務め、ミネベアミツミを俯瞰できる貴重な人材である。また、現在も取締役社長執行役員 COO&CFO として、その役割を全うしている点を鑑みて賛成。

岩屋 良造 氏

・長くにわたり営業部門、電子機器事業等の要職を務め、ミネベアミツミを俯瞰できる貴重な人材である。また、現在も取締役アクセスソリューションズ事業本部長として、その役割を全うしている点を鑑みて賛成。

野根 茂 氏

・長くにわたり営業部門の要職を務めミネベアミツミの事業拡大に大きく貢献しているほか、その貴重な経験と高い見識を鑑みて賛成。

水間 聡 氏

・長くにわたりボールペ어링事業の要職を務め、貴重な経験と高い見識を有しており、新たに取締役としてもその役割を全うすることが十分に期待できる点を鑑みて賛成。

鈴木 克敏 氏

・長くにわたりモーターを中心とした技術開発部門の要職を務め、貴重な経験と高い見識を有しており、新たに取締役としてもその役割を全うすることが十分に期待できる点を鑑

みて賛成。

宮崎 裕子 氏

・弁護士や元最高裁判所判事としての見識や、他社で社外取締役や社外監視役を務めるなどの貴重な経験を有しており、昨年度に引き続きミネベアミツミへの貢献が期待できる点を鑑みて賛成。

松村 敦子 氏

・国際経済学に関する専門的な知見や大学教授として培われた幅広い見識を活かして、2018年6月から社外取締役としての役割を全うしている点を鑑みて賛成。

芳賀 裕子 氏

・経営コンサルタントとしての経験と企業戦略に関する専門的な知見を活かして、2020年6月から社外取締役として適切な監督・助言等を行っている点を鑑みて賛成。

片瀬 裕文 氏

・経済やエネルギー、貿易、宇宙開発など幅広い分野の政府機関の要職を務めてきた貴重な経験を活かし、今後も社外取締役として役割を全うすることが期待できる点を鑑みて賛成。

松岡 卓 氏

・2005年6月から長くにわたり、社外取締役としての役割を全うしている点を鑑みて賛成。ミネベアミツミは同氏が取締役副社長執行役員を務める株式会社啓愛社と定常的な商取引を行っているが、同社との取引額は僅少であり、当該取引がミネベアミツミの意思決定に影響を与えるおそれはないと判断した。

・上記の理由に加え、新任の水間聡氏、鈴木克敏氏を除く10名の取締役会出席率が100%であることを鑑みて、取締役12名全員の選任に賛成。

○第三号議案について

塚越 眞弘 氏

・長くにわたり経理財務、経営管理、経営企画部門等において要職を務め、豊富な海外経験を有していることを評価。2020年8月からの人事総務部として働きも評価し、監査役としても十分な役割を果たすことが期待できる点を鑑みて賛成。

山本 博 氏

・ J T で長くにわたり要職を務め、2012 年 6 月から同社監査部長、2019 年 3 月から同社常勤監査役としての経験を評価し、監査役として十分な役割を果たすことが期待できる点を鑑みて賛成。

星野 慎 氏

・ 長くにわたる国税局としての税務業務の経験に加え、税理士としての知見も有しており、監査役として引き続き役割を全うすることが期待できる点を鑑みて賛成。

・ 上記の理由より、監査役 3 名全員の選任に賛成。

参考文献

・ 三菱 UFJ 信託銀行 受託財産運用における株式議決権行(PDF)

https://www.tr.mufg.jp/houjin/jutaku/pdf/nyou_kabu_5_pdf.pdf

・ ISS 2023 年版 日本向け議決権行使助言基準(PDF)

<https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>

・ 三井住友 DS アセットマネジメント 議決権行使判断基準(PDF)

https://www.smd-am.co.jp/corporate/responsible_investment/voting/guideline/pdf/criteria_for_determining_the_exercise_of_voting_rights_20230104_jp.pdf

・ GLASS LEWIS 2023 Policy Guidelines Japan

<https://www.glasslewis.com/wp-content/uploads/2023/01/%E6%97%A5%E6%9C%AC-Voting-Guidelines-Japan-in-Japanese-2023.pdf?hsCtaTracking=07233264-395e-4cee-88bb-e445739eefc2%7C6728a1a4-8f20-4c80-ba20-0a4ca82ba2a1>

・ 東京証券取引所 最終閲覧日 2023.6/25

<https://quote.jpx.co.jp/jpx/template/tmp/Jkessan.asp?QCODE=6479>

・ ミネベアミツミ株式会社 第 77 回定時株主総会招集ご通知(PDF)

<https://www2.jpx.co.jp/disc/64790/140120230529586050.pdf>

・ IR バンク ミネベアミツミ 最終閲覧日 2023.6/25

<https://irbank.net/E01607/dividend>